

【高等学校用】

令和6年度学校評価計画

|  |
|--|
| <b>達成度（評価）</b><br>A：十分達成できている<br>B：おおむね達成できている<br>C：やや不十分である<br>D：不十分である |
|--|

|     |             |
|-----|-------------|
| 学校名 | 佐賀県立伊万里実業高校 |
|-----|-------------|

|                  |   |
|------------------|---|
| 1 前年度<br>評価結果の概要 | ・「唯一無二の誇り高き学校づくり」の課題については、両キャンパスともに、具体的な取組に着手し始めたところである。継続した取組になるよう今後の計画を熟考する必要がある。<br>・コロナ禍の中、学校祭や芸術鑑賞会等の行事を合同で行うことができた。一方で、校外活動にはその影響が残っており、オンライン実施も含めて、より効果的な教育活動を創出していく必要がある。 |
|------------------|---|

|                            |  |
|----------------------------|--|
| 2 SAGAスクール・ミッション<br>学校教育目標 | 「農」と「商」の学びを生かして、地域とともに歩み地域産業に貢献できる人材を育成します |
|----------------------------|--|

| アドミッション・ポリシー  | カリキュラム・ポリシー                                    | グラデュエーション・ポリシー   |
|---|--|--|
| ○学びたい<br>○地域に貢献したい<br>○チャレンジしたい<br>○創造（創意工夫）が好き<br>○協力できる | ○専門科目の横断的な学び<br>○探究活動による課題解決型の学び<br>○コンソーシアム構想 | 【必修科目】<br>○農業や福祉産業をリード<br>○スマート農業に挑戦<br>○農分野の人と地域課題を解決<br>【フットビジネス科】<br>○地域食品産業をリード<br>○SDGsの観点から「食」を考える<br>○地域課題解決に向けたフードビジネスを創造<br>【商業科】<br>○多面的にビジネスを考え、地域経済の発展に貢献<br>○ビジネスの現場の即戦力を習得する<br>【経済地理科】<br>○地域農林・工学産業のリーダーを自覚す<br>○自然環境と人間社会とのつながりを考える<br>○ライフラインや環境を守る<br>○システムエンジニアとして社会に貢献<br>○社会実用性に対応して経済発展と課題解決の両立を目指す |

|            |  |
|------------|--|
| 4 本年度の重点目標 | ① 学びの個別最適化を通して、生徒のレジリエンスを高める<br>② 生徒の基礎学力の向上により、汎用性の高い能力を身に付けさせる<br>③ Society5.0やシンギュラリティなどの次世代DXを見据え、多様な地域課題の解決に貢献できる人材の育成を図る |
|------------|--|

5 重点取組内容・成果指標

| (1)共通評価項目          |   |  |   | 中間評価        |          | 最終評価        |      | 学校関係者評価 |       | 主な担当者 |
|--------------------|---|--|---|-------------|----------|-------------|------|---------|-------|-------|
| 評価項目               | 重点取組  | 成果指標<br>(数値目標)   | 具体的取組   | 進捗度<br>(評価) | 進捗状況と見通し | 達成度<br>(評価) | 実施結果 | 評価      | 意見や提言 |       |
| ●学力の向上             | ○言語活動を充実させ、主体的な学びを重視した授業を推進   | ○アグリマイスター取得生徒5名以上(農林キャンパス)<br>○専門に関する資格取得、全商3種目以上の取得者50%以上(商業キャンパス)<br>○専門に関する資格取得数4個以上の生徒80%以上<br>○前の小テストの平均正答率7割以上<br>○「小テストや朝の学習が基礎学力向上につながった」と回答した生徒が70%以上 | ・実習や実践授業、実験等を通して、目的や目標を明確に示し、できたことをほめることで、学習意欲を向上させる<br>・課題研究を通して探究活動を充実させる<br>・進路実現に向けた取り組みであることを理解させることで、主体的に学習する意識付けを行う<br>・学校全体で取り組むことで、学習環境を醸成する | ・           | ・        | ・           | ・    | ・       | ・     |       |
| ●心の教育              | ●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動<br>●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 | ○「地域貢献活動等を通して、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付けた」と答えた生徒90%以上<br>○生徒指導課題(交通安全・防犯・薬物防止)を受講して、「ためになった」と答える生徒80%以上                                | ・開校記念行事登山での清掃活動や地域貢献活動を通して、思いやりや社会性を育成する<br>・外部講師による講話(交通安全・防犯・薬物防止)を実施し、生徒がそれらの問題に対して関心を持ち、自ら対処できる知識を身に付けさせる   | ・           | ・        | ・           | ・    | ・       | ・     |       |
| ●健康・体づくり           | ●「望ましい生活習慣の形成」<br>●「安全に関する資質・能力の育成」   | ●「健康に良い食事をしている」と回答した生徒が80%以上<br>●生徒の交通事故を0(ゼロ)にする  | ・保健だよりの毎月発行<br>・食に関するアンケートによる意識調査を実施する<br>・定期的に自転車点検を行う。交通安全に関する規範意識向上のための集会を開催する。<br>・交通安全講話の実施  | ・           | ・        | ・           | ・    | ・       | ・     |       |
| ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | ●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減   | ●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する   | ・定時退勤日の設定及び呼びかけ<br>・学校閉庁日の設定<br>・部活動休養日の設定  | ・           | ・        | ・           | ・    | ・       | ・     |       |
| ●特別支援教育の充実         | ○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上   | ○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員70%以上  | ・特別支援教育に関する研修会の実施<br>・ケース会議の開催、関係者間での情報共有   | ・           | ・        | ・           | ・    | ・       | ・     |       |

| (2)本年度重点的に取り組む独自評価項目 |  |  |   | 中間評価        |          | 最終評価        |      | 学校関係者評価 |       | 主な担当者 |
|----------------------|--|--|---|-------------|----------|-------------|------|---------|-------|-------|
| 評価項目                 | 重点取組内容   | 成果指標<br>(数値目標)   | 具体的取組   | 進捗度<br>(評価) | 進捗状況と見通し | 達成度<br>(評価) | 実施結果 | 評価      | 意見や提言 |       |
| ★唯一無二の誇り高き学校づくり      | 【農林キャンパス】<br>★農業を通じた地域連携活動や交流活動の推進<br>【商業キャンパス】<br>★実践的な授業や実習を通して地域産業(事務、販売、流通分野、IT分野)が求めるスキルを身に付ける<br>【両キャンパス】<br>★農業教育、商業教育の学び合いによる相乗効果を生み出す | 【農林キャンパス】<br>★「農業を通じた地域連携活動や交流活動ができる」と答えた生徒80%以上<br>【商業キャンパス】<br>★「地域産業(事務、販売、流通分野、IT分野)で役立つスキルを身に付けた」と答えた生徒80%以上<br>★専門教科に関連した検定試験の合格率90%以上<br>【両キャンパス】<br>★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒・教職員ともに90%以上 | 【農林キャンパス】<br>・SAGAスマートラーニング(SSL)を通して「人と環境に優しい農業教育」に取り組む<br>【商業キャンパス】<br>・食を軸とした実践型授業を年間複数回実施<br>・地域産業界から外部講師を派遣してもらい講話や講演会を実施する<br>【両キャンパス】<br>・学校祭を通して、それぞれの校舎での学びの良いところを知る<br>・学校だよりを通して、互いのキャンパスの活躍を知る | ・           | ・        | ・           | ・    | ・       | ・     |       |
| ○ICT利活用              | ○職員のスキルアップと生徒の学習用PC利活用率の向上   | ○電子黒板または学習用PCを活用した授業の実施率80%以上(教員)<br>○課題研究での学習用PCの活用率80%以上(生徒)   | ・教科指導における、効果的な場面で電子黒板等を活用する<br>・課題研究での記録、発表スライドの作成等で学習用PCを活用する  | ・           | ・        | ・           | ・    | ・       | ・     |       |
| ○学校情報の発信             | ○広報活動に努め、開かれた学校づくりに取り組む  | ○学校だよりを年間8回発行<br>○学校HPの「キャンパス News」「キャンパス Event」を随時更新する。   | ・学校だよりを発行し、保護者や近隣中学校等に配布する<br>・学校行事やイベントについての案内にHPを積極的に活用する<br>・各マスコミに対して、積極的に取材を依頼する   | ・           | ・        | ・           | ・    | ・       | ・     |       |

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

|                |             |
|----------------|-------------|
| 6 総合評価・次年度への展望 | ・<br>・<br>・ |
|----------------|-------------|